

全てのご意見は掲載できませんでしたが、各参加者のご意見は少なくとも1つ以上含まれていますので、ぜひ1つ1つのご意見に目を通してみてください。

●成果物2「生成 AI(Google Gemini Notebook)によるまとめ」についての補足

「市の現状に対する想い」と「10年後のありたい姿」をテーマに、4日間、28グループで行われた、全ての対話の内容を総合して、生成 AI が「10 年後のありたい姿」として、参加者の皆さんの意見をまとめたものです。



■基本理念・・・「自立」と「共生」について

人口減少により、様々な局面で担い手が不足してきており、地域コミュニティにおいてもお互いへの関心が薄れ、世代間の交流が少なくなるなど、かつては「お互い様」で成り立っていた地域の維持に対する危機感が語られました。

そのような中で、地域の維持には行政の対応のみでは限界があり、住民主体の活動がますます重要になること、誰もが孤立しない共生社会を守っていくことが大切であることが語られました。

■マインドセットの転換・・・「量から質へ」について

社会情勢が大きく変わろうとしている中、今後の 10 年に向けて、価値観や考え方(マインドセット)を以下のように転換していく必要がある、ということについても語られました。

- ・規模の拡大、増加など、量的な拡大を目指す社会から、人生の質(Quality of Life)や心の豊かさなど、質的な向上を目指す社会への転換
- ・行政主体の(予算に限りがある)まちづくりから、市民が自発的に参画するまちづくりへの転換
- ・世代間で分断されている限定されたコミュニティから、オープンで寛容な多世代交流への転換
- ・外部に依存する経済から、地域資源を価値に変える、持続可能なローカル・ライフスタイルへの転換

■4つの将来像・・・「教育・還流」「共生」「経済」「安全」について

成果物1にもある4つのキーワードを、目指すべきまちの将来像として、以下のようにまとめています。

- 1.教育・還流 郷土の誇りを紡ぎ、知恵を還す
- 2.共生 誰も排除されず、多世代が補い合う
- 3.経済 固有の資源を磨き、自立した富を循環
- 4.安全 日常を守り抜き、強靱な連帯を示す